日本の地方におけるグローバル化

学校法人せとうち 田中旬一



学校法人設立後の地方の変化

今後の目指す方向



- 1998年岡山白陵高校卒業 クラス最下位
- 2000年北京語言文化大学留学
- 2022年九州大学法学部政治学科卒業 剣道個 人全国大会へ



• 2003年 株式会社ファーストリテイリング 嫌われる

2005年 中国予備校/中国語学校 人材養成への興味



• 2012年 アジアマーケティング株式会社を設立。日本への留学支援や、外国人材向けの職業紹介を開始。

• 2018年 アジアマーケティングの職業紹介部 門をアジア人材サービス株式会社として独立させる。



• 2017年 企業からの注文式教育で、実践力の高い人材を養成するため、学校法人せとうちを設立。地元の廃校を再生させ、岡山県瀬戸内市に専門学校「日本ITビジネスカレッジ」を開校させる。



学校法人設立後の地方の変化

今後の目指す方向

学校法人設立後の地方の変化

外国人增加

多様性の拡大

DX化/インバウンド事業発展/介護充実

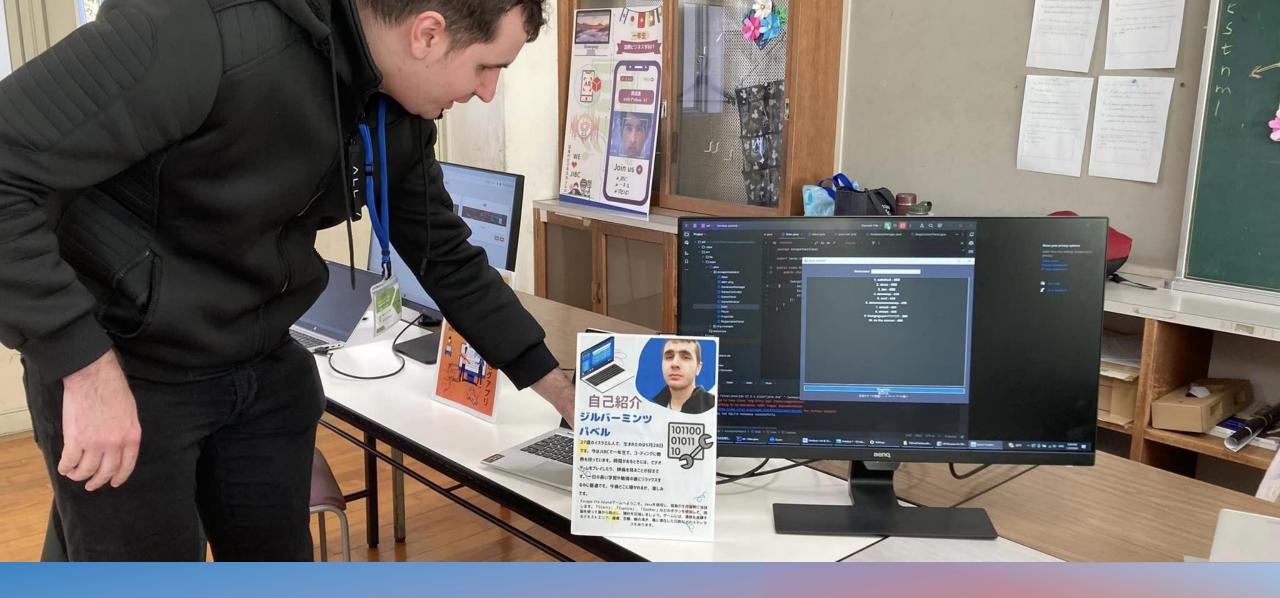


日本itビジネスカレッ

❷ メッセージ

☆ 「いいね!.

外国人增加



外国人增加

外国人增加

4. 市町村別 在留外国人数

(令和4(2022)年12月末現在 単位:人)

	±=++	人口	在 留	外国人の割る		国籍・地域別										R3年末 時点から
市町村		(※1)	外国人数	の割合 (※2)	ヘナナム	中国	韓国	フィリヒン	イント・ネシア	ブラジル	ネハール	米国	タイ	台湾	その他	の増減
1	岡山市	702,020	14,426	2.05%	3,793	3,946	2,159	796	670	336	443	199	189	106	1,789	1,298
2	倉敷市	477,799	7,089	1.48%	1,854	1,194	1,564	648	419	171	429	64	45	41	660	511
3	津山市	97,645	1,112	1.14%	447	153	109	136	54	35	8	22	16	12	120	79
4	玉野市	55,721	666	1.20%	243	116	51	60	59	58	11	7	6	4	51	21
5	笠岡市	45,534	718	1.58%	317	97	22	36	144	3	13	7	7		72	134
6	井原市	38,064	599	1.57%	299	110	9	42	26	9	12	5		5	82	38
7	総社市	69,678	1,607	2.31%	857	123	44	91	79	251	11	8	17	3	123	-63
8	高梁市	27,650	945	3.42%	284	153	54	30	259	45	5	4	1	3	107	23
9	新見市	27,244	326	1.20%	110	79	32	38	7	1	4	12	7		36	54
10	備前市	32,068	666	2.08%	307	85	79	59	36	16	2	25	3	4	50	106
11	瀬戸内市	36,525	618	1.69%	298	52	76	31	43	1	11	13	11	1	81	147
12	赤磐市	43,392	551	1.27%	261	135	43	18	15	14	4	12	6	1	42	41
13	真庭市	42,586	345	0.81%	95	63	39	31	24	9	21	8	6		49	15
$\overline{}$																

学校法人設立後の地方の変化

外国人增加

多様性の拡大

DX化/インバウンド事業発展/介護充実





多様性の拡大

学校法人設立後の地方の変化

外国人增加

多様性の拡大

DX化/インバウン ド事業発展/介護



DX化

外国人を活用し、岡山県企業のDX化を促進する。

インド人材の活用

必要な資格とスキルを身に付けることができます

勉強すること

HTML/CSS, Java Script,Python, PHP, Java/Swift,日本語 ビジネスマナー

目指す資格

IT passport 試験 TOEIC700点 日本語能力試験N2



Python



Java/Swift



←顔認識システムを作る



学校法人 せとうち

日本ITビジネスカレッジ

〒701-4212 岡山県瀬戸内市邑久町尻海2968

Tel: 0869-24-8588

日本ITビジネスカレッジ

JIBCは人材会社(Human Resource Company)など

がく せい しゅうしょく

がい しゃ

学生の就職をサポートするグループ会社があります







学生に仕事を紹介します。求人は300以上!





日本ITシステム株式会社

IT企業です。 卒業生も就職!

株式会社BlockChain

世界最先端の技術を持っています!



学校法人 せとうち

日本ITビジネスカレッジ

〒701-4212 岡山県瀬戸内市邑久町尻海2968

Tel: 0869-24-8588

日本ITビジネスカレッジ

C



Bridge of South East Asia

人材会社がたくさんの会社を紹介します





学校法人 せとうち



〒701-4212 岡山県瀬戸内市邑久町尻海2968

Tel: 0869-24-8588

事業名

ウェルビーイングを実現できる介護業界DX人材養成事業

提案者

学校法人せとうち 日本ITビジネスカレッジ

所要経費

25.931千円

事業の趣旨・目的

日本が超高齢社会に突入し、介護の需要が増大している中で、本プロジェクトは介護現場におけるIT技術の活用を促進し、基礎IT人材の養成を目指すものである。このプロジェクトは、人手不足や過重労働といった介護現場の課題を解決し、労働環境の改善を促進させるもので、IT技術の導入による作業効率化や業務改善は、労働者の負担軽減を図るだけでなく、サービスの質向上にもつながる。

しかしながら、現在の問題点として基礎的なIT技術すら理解できる人材が少ないため、人材養成に対するニーズが高まってきている。また、地方における孤独感や交流の少なさ、求職の難しさなど、多くの社会的課題を抱えている。

本事業は、これらの問題を解消すべく、介護施設のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に向けた人材養成を目的に行うものである。介護施設の運営効率化やサービスの向上は経済的な効果を生み出し、地域への貢献という意識が求職者に芽生える可能性もある。

求職者の確保については、介護施設と連携し、介護士不足という問題を解消する方向性で取り組む予定である。具体的には、介護施設内でIT介護士の養成を行い、さらに、中国学園大学との連携により幅広い年齢層に求職者確保のアプローチを行う。また、ハローワークの訓練プログラムとも連携し、より多角的な手法で人材の獲得を図る計画である。

このような取り組みを通じて、介護業界における人手不足や過重 労働の解消、サービスの向上、そして地方の求職者の生活改善を目 指すとともに、地域社会への貢献を促すことが本事業の主要な目的 である。

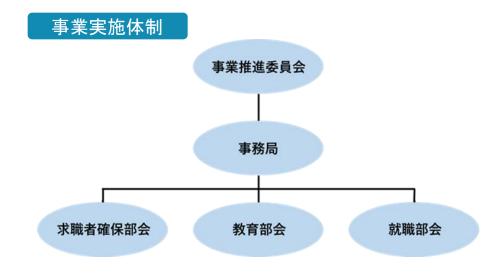
基本情報 • 目標等

基本情報	内容•目標等
対象とする職業・分野	IT、介護
学習ターゲット、目指すべき人材像	介護職員及び求職者 基礎的なIT技術を習得し介護知 識と使いこなせるようになる。
対象者のレベル(当該プログラムの内容に関する基礎知識の有無)	ゼロレベル又は初級レベルのIT知 識の介護従事者
プログラム受講後に想定される受講者 のキャリア・受講者が目指す姿	介護現場でITスキルを使いこなし、 効率的に業務を行う
開発するプログラムの目標受講者数 (1期間あたり)	30人
開発するプログラムの総授業時数 (1期間あたり)	120時間
開発するプログラムの想定受講期間 (1期間あたり)	4か月
e-ラーニングの実施の有無	有

連携機関及び各機関の役割・協力事項

事業主体:学校法人せとうち 日本ITビジネスカレッジ(認定課程)

機関名	役割・協力事項	内諾	機関名	役割・協力事項	内諾		
石川労働局	【求職者確保部会】求職者とマッ チング、当プログラムの周知等	0	株式会社ロジック	【教育部会】介護業界に特化 したITツールや知識	×		
岡山労働局	【求職者確保部会】求職者とマッ チング、当プログラムの周知等	0	株式会社ナカシマブレインズ	【教育部会】DX化などのコン サルティングサービス等	0		
福岡労働局	【求職者確保部会】求職者とマッ チング、当プログラムの周知等	0	一般社団法人中小企業リスキリン グ協会	【教育部会】AIスキルの活用 法、AIを用いた働き方等	0		
国立大学法人 岡山大学	【教育部会】地域医療・介護、医 療のプログラムの構築	0	医療法人閑谷会	【就職部会】受講生の介護施 設への就職	0		
国立大学法人 金沢大学	【教育部会】プログラム開発等	0	社会福祉法人 誠和	【就職部会】受講生の介護施 設への就職	×		
国立大学法人 九州工業大学	【教育部会】ITを生かした業務効 率の向上等	0	株式会社 SUMAIZU	【就職部会】受講生の介護施 設への就職	0		
学校法人中国学園 中国学園大学	【教育部会】カリキュラム構成の 検討、求職者募集等	0	一般社団法人 石川県介護福祉士 会	【就職部会】受講生の介護施 設への就職	0		
学校法人 清永学園 金沢福祉 専門学校(認定課程)	【教育部会】ITを生かした業務効 率の向上等	0	株式会社さわやか倶楽部	【就職部会】受講生の介護施 設への就職	0		
学校法人友幸学園 九州テク ノカレッジ(認定課程)	【教育部会】ITを生かした業務効 率の向上等	0					
学校法人山本学園 専門学校 山形V.カレッジ(認定課程)	【教育部会】ITを生かした業務効 率の向上等	×					
学校法人アジアの風 岡山外語学院	【教育部会】介護コンテンツの作 問等	0					
アローサル・テクノロジー株 式会社	【教育部会】介護現場でのメタ バースの活用法等	0	[小計及び合計] 教育機関 8機関/企業数 6	機関/業界団体 3機関/			
NDソフトウェア株式会社	【教育部会】ソフトウェアの操作 や運用の知識	×					



【事業推進委員会・事務局】

当事業の主体である学校法人せとうち日本ITビジネスカレッジを中心に各部会の代表者数名からなる。主に、事業計画の策定、管理を行う。また、事業の推進に当たって、各部会統括、連携、情報共有も行う。事務局では、書類作成、各部会のスケジュール調整などを行う。

【求職者確保部会】

各地の労働局から構成される。当プログラムにマッチする求職者等を選定して受講者を確保する。また出口局面たる就職活動においては、各々の求人情報を活用し受講生のサポートに当たる。

【教育部会】

主に大学、IT企業、専修学校から構成される。大学はそれぞれの専門分野から専門的な知見を提供し、高度かつ実践的なプログラム作成の一翼を担う。IT企業はIT科目のプログラム策定、及び講師の派遣を行う。専修学校では、大学、IT企業の知見を実際の講義内容に落とし込みプログラムを稼働する。

【就職部会】

主に介護事業者から構成される。介護業界を中心に学生の就職先の確保を担う。就職先として受講生を受け入れた事業所からは受講生に対するフィードバックを定期的に行い、プログラムのブラッシュアップも担う。

対象とする職業分野におけるリカレント教育の現状、課題 とその解決策についての提案者の考察

(1)介護業界の考察

介護業界においては、社会の高齢化に伴って介護の需要が増大しており、それに対応するためにも介護職のスキルアップが求められている。また、技術の進歩や新たな介護方法の開発など、介護の現場でも変化が進んでおり、その変化に対応するためのリカレント教育の重要性が高まっている。今回は最新のIT技術を学ぶためのリカレント教育事業であり、効率よく学習できるカリキュラムを作成する。また、介護職は精神的、肉体的に大変な職業であり、適切なサポートと教育がなければ、職員の離職率が上昇する可能性がある。そのため、リカレント教育を通じて、ストレス管理の方法や効率的な業務の進め方などを学ぶことも重要とされている。スタッフが過労になると、効率が落ち、ケアの質が低下し、最終的には離職につながる可能性がある。ストレス管理の技術を学ぶことで、スタッフはウェルビーイングを保ちつつ、長期的に介護業界で働き続けることができるというメリットがある。

一方で、介護業界には人手不足という問題があり、日々の業務に追われてリカレント教育に十分な時間を割くことが難しいという現状もある。この問題を解決するためには、教育の時間やコストを効率的に管理する仕組みが必要となるため、オンライン教育はもちろん、時間と場所を選ばないオンデマンド式の導入が必須と考える。人手不足が深刻な介護業界において必要な施策といえる。

(2) ミドルシニア層へのリカレント教育

介護分野でリカレント教育の対象となる年代は40~60代と考えられ、それらはミドルシニア層(中高年)である。これらの世代の興味を喚起するには、彼らがシニア世代(70代以上)の一つ前の世代であることを認識する必要がある。ミドルシニアが老後を有意義に過ごすために身に付けたい知識として、ITと介護に加え、ミドルシニア向けの総合科目を導入する。具体的には、健康学(介護予防・体によい料理・運動等)、アート(音楽・芸術・文学等)、言語学(英語・韓国語等)、ファイナンス(相続・保険・投資等)などの学びを充実させる。また、これら科目を提供する大学と専門学校と提携して通学形式の授業も開講し、学生とミドルシニアの交流も促進する。詳細は後述

アップデートプログラムの開発の概要①

プログラムの概要と想定する対象者

令和4年度実施した「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の反省を踏まえて、基礎的なIT技術を学ぶカリキュラムを拡充する。具体的には介護施設と連携したプログラムの刷新に努め、介護事業者である(社福)誠和、(医療法人)閑谷会及びさわやか倶楽部等と提携し、介護施設の欲する業務内容かつ受講者が学びやすい内容にカリキュラムを刷新する。更に、受講者の満足度が高かった分野のカリキュラム構成の充実をはかる。例えば、オフィス関連スキル向上及び介護事業関連ソフトの知識と利用法等、ITに関わるカリキュラムをより充実させていく。

令和4年度は、介護施設内の人材養成が中心ではなく、新規の受講者が中心で求職者を募集したため、その確保に苦労した。 今年度は協力いただく介護事業者の社内研修に採用いただく予定である。同時に各地のハローワークと提携し教育訓練給付金等の制度を活用し幅広く受講者を募集する。また、中国学園大学と連携し、対象となるミドルシニアを強く意識したカリキュラムの検討と開発を行う。例えば、健康学、ファイナンス、アート(音楽・芸術)等、受講者自身も必要な学びであり、且つ介護職でも利用者へのサービス提供に活用できる講座内容にする。

総授業時間数・期間・受講形態

120時間・4か月(各コマ1時間、1週間あたり7~8コマ(7~10時間)、16週間(4か月)で120時間)

講座は現地とオンラインのハイブリッドで行う。講義はすべて アーカイブ化し、受講者がIDとパスワードで自由な時間に閲覧 し学習することができるようにする。アーカイブ視聴とアン ケート又は課題提出により学習効果を高める。

想定する受講者数・受講者募集

30名程度(内訳:企業内研修20名程度、求職者10名程度)

ハローワーク経由での求職者募集(訓練給付金対象を予定)

【募集方法】

ウェブサイト・動画・SNSによる告知と参画教育機関からの広報 委員介護事業者内での社内教育の一環とする 全国介護事業者へのDM発送

習得できる能力と就職先

【受講により身に付けられるスキル】

- ・基礎的なITスキル・知識。客観的なスキルレベルとしては、ドットコムマスターベーシック合格相当を想定。
- ・介護現場での I T活用に必要なスキル。介護現場で用いられる I Tツール、ソフトウェアの使用方法
- ・基礎的介護知識(介護福祉士国家試験の、介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援技術、介護過程に相当する部分)
- ・健康学、ファイナンス、アート(音楽・芸術)等、ミドルシニア 層が興味があり、且つ健康寿命を延ばすのに役立つスキル

【想定される就職先・転職先】

- ·介護関連施設
- ・IT企業(特に介護業界に展開する企業)
- ・基礎的IT知識を必要とする一般企業

【期待される活躍】

- ・当プログラム受講により、介護業界には決して多くないITスキルの豊富な人材として社内文書のデータ化、ICT化による巡回などの効率化、必要労働力の削減等に貢献する。また、介護業界へのICTツール普及加速の担い手となることも期待される。
- ・健康学など周辺分野の知識を得ることにより、<mark>受講者自身や家族の健康寿命が延びる</mark>。且つITスキルの習得によりSNS等の交流が活発になり、より充実したシニアライフを送る礎を築ける。

アップデートプログラムの開発の概要②

- 1. IT基礎/応用: コンピュータの基本操作、インターネットの利用方法、デジタルセキュリティについての基本知識など、IT 技術を活用するための基本的なスキルを養う講座を開講。介護スタッフが日々の業務を効率的に行い、患者のケアの質を向上させるための基礎となる。
- 2. 介護現場のIT: ITを利用した介護技術に関する講座となる。IT介護の基本知識では介護領域での活用を学ぶ。また、電子カルテ、介護スケジューリング・管理ソフトウェア、リモートモニタリングシステム等の具体的なITツールの操作方法を習得する。更に遠隔地からの健康管理を可能にするテレヘルスについて学ぶ。AIとロボティクス(健康分析や自動運転車両等)やデータ分析と情報管理について知識を得る。将来的なメタバースの可能性についても学ぶ。具体的には四肢が不自由となっても不自由なく世界中と交流できたり同じ空間を共有できることを理解し、そのツールを活用できるスキルを身に付ける。
- 3. 介護実践分野:理論だけでなく、実際のケーススタディを通じて学ぶ。実際の介護現場のシナリオでITを介護に活用できるケースも体験することで、理論を実践につなげることができる。①ケーススタディの紹介と解析、②解決策の設計、③解決策の実装とテスト、④フィードバックと改善を骨子とする。
- 4. ミドルシニア層向け総合科目:「健康学」では介護予防のための知識や運動、健康維持のための料理等の知識を身に付ける。「アート領域」では音楽・芸術・文学を学びその鑑賞や実践も行う。ほかに言語学や歴史文化を学んで興味の領域を広げるとともに、ファイナンスなど老後の資産形成についても学ぶ。
- **5. 小テストの実施**: 講座の進捗に合わせ学習者の理解度を継続的に確認することが重要となる。そのため、小テストの実施は学習者の学習過程と理解度を評価するために有用であり特に、IT等に関連する講座においては、複雑な概念や技術を扱うことが多いため受講者が習得しているかどうかを定期評価する必要がある。

カテゴリ	科目名	時間	必修	対面・遠隔	教員	所属	双方向	PBL	座学	実習
	PC基礎 I ・II(ハード、ソフト(OS)等)	6	0	併用	深堀	JIBC	0	0	0	
	PC応用(タイピング、基本操作、周辺機器)			併用	深堀	JIBC	0	0		0
计算体/成用	PC応用(ネットワーク、トラブル対応等)	6	0	併用	深堀	JIBC	0	0		0
IT基礎/応用 介護現場のIT	Microsoft Office 基礎・応用 I II	18	0	併用	深堀	JIBC	0	0	0	0
7 日交りに 別でフェー	介護現場のDX化のスキル/メタバースの可能性	6	0	併用	佐藤	アローサル	0	0	0	0
	介護現場でのIT活用実習	12	0	併用	岩本	JIBC	0	0		0
	介護ITシステムの活用 II (ロジック)	6	0	併用	棚橋	(株)ロジック	0	0		0
介護実践分野	介護の基本I~VI(概論・生活・リスク・安全等)	9	0	併用	岡村	JIBC	0		0	
	生活支援技術 I ~VII(基本・みじたく・住居等)	12	0	併用	岡村	JIBC	0		0	\circ
ミドルシニア	健康学(健康促進と介護予防、運動、家庭科等)	9	0	併用	佐々木	中国学園大学	0	\bigcirc	0	\circ
層向け総合科	アート領域(音楽・芸術・文学)の鑑賞と実践	9		併用	佐々木	中国学園大学	0		0	0
目	言語学・日本および世界の歴史・文化・地理・観光	9	·	併用	鷹家	岡山外語学院	0	0	0	0
	その他(ファイナンス、ライフデザイン等)	6		併用	佐々木	中国学園大学	0	0	0	0
	小計	120								

取組の年次計画

令和5年度計画詳細

3月1日の事業終了を見据え、計画的に実施する。8月のキックオフ会議で委員全員で認識合わ せを行い、同月に各部会を実施してそれぞれの部会の活動を開始する。プログラム稼働前に第 二回の委員会を開催する。

【凡例】★委員会開催 ☆部会開催

組織	6月	7月	8.	月	9月	10月	11月	12月	1	月	2月	3月
推進委員会	提案書提出	契約	★委員会				★委員会	受講者			企業	3/1事業
事務局				-	プログラム開発	4		アンケート	0		アンケート	終了
教育部会				☆部会			プログラム稼働 2 良		プログラム改良	会 プログラ	5ム稼働	
求職者確保部 会			キックオフ 会議	☆部会 受講者向け説明会		☆部会						
				☆部会			☆部会					
就職部会				計画立案就職先確保活		動	1	企業交流会	・就職サポート			

令和5年度

【アップデートプログラム開発】

令和5年度は受講者の確保とプログラムの開 発が特に重要となる。受講者の確保について は、ウェブサイトやSNSおよび動画を活用し た広報活動に加え、就職部会に参画する介護 事業者では積極的に社内教育の場として職員 の参加を促す。また、オンラインとオンデマ ンドでの受講が可能であることから、全国の 介護事業者へDMを発送するなど面で事業者 へのアプローチを図る。

プログラム開発は当事業の推進主体である日 本ITビジネスカレッジと他の専門学校と共同 で、ITと介護のプログラムを開発するととも に、中国学園大学等のリソースを活用しミド ルシニア向け総合プログラムの開発に注力す る。

プログラム受講者数:30名

所要経費:25,931千円

令和6年度

【プログラムの改良と受講対象の拡大】 令和6年度はこれまでプログラムアップデー トの為、各大学、IT企業とのミーティング、 介護事業所あてのアンケートによりさらなる アップデートを図っていく。就労先からの フィードバックや各労働局の知見を加えてい

事業主体の日本ITビジネスカレッジでは、リ カレント教育推進事業部にてリカレント事業 拡大の一環として、中国学園大学と共同で開 発したミドルシニア向け総合科目の充実と汎 用性を高めることに注力する。具体的には介 護分野に限らず受講者を広げ、年齢層も30 代のミドル層や、70代のシニア層の受講も 歓迎する。

プログラム受講者数:50名 所要経費:24,941千円

令和7年度

【就職支援の充実・プログラム横展開】 令和7年度はITスキルを身に付けた介護士養

成、さらにミドルシニア向けの総合科目の充

実によるウェルビーイングを体現する人材を 輩出することになる。委員の各専門学校及び 中国学園大学さらには岡山大・金沢大等でも 介護従事者や他業種のミドルシニア層が学び に訪れる、ミドルシニア層と若者(学生)が 学びあい交流するプログラムが各所で展開さ れていることを目指す。受講者は身に付けた スキルを以てより積極的に企業交流会や企業 面接に臨み、よりよい条件での転職を実現す

として完成し、事業参画校以外へ事業が展開 され、実施校がさらに増えることを目論む。 プログラム受講者数:80名

所要経費:22.961千円

ることを目指す。介護分野のDX人材および

ウェルビーイングをアップデートプログラム

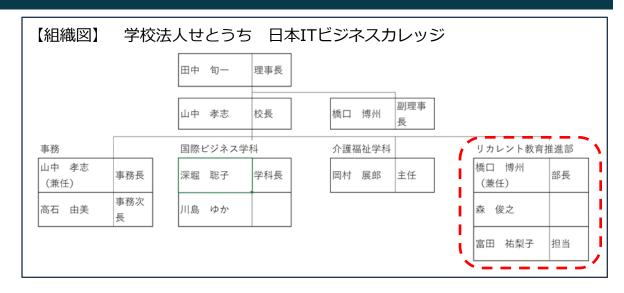
提案年度の取組①

プログラムの継続的取り組みに向けた学内整備

令和4年度に実施した「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の組織(右図)で対応する。引き続き副理事長の橋口が全体責任を負う。2名の専任を置き、受講者募集と口座管理を行う。人員は必要に応じて増員する。

授業の実施方法

授業はオンラインと現地受講のハイブリッド形式とする。 参画校での教室で対面で授業を受けることもできるし、 すべてをオンラインで受けることも可能とする。



また令和4年度と同じくすべての授業をアーカイブで受講可能とする。また、自習をサポートする目的で介護分野の初任者研修など実際に介されている研修の内容を盛り込んだ学習アプリの提供を検討する。

社会人の受講しやすい工夫

講座は就労者の負担が大きくなりすぎないよう、週当たり6~8時間を基準として開講する。 また、すべての講座において現地参加またはオンラインが選べるようハイブリッド形式で実施する。 すべての講座をアーカイブに残すことで、自由な時間に受講できるよう配慮する。 職業訓練受講給付金対象プログラムとする予定であり、受講費用は徴収しない予定である。

受講者の継続就労と就職支援

就労者の受講については所属する介護施設等の上司の承認の上で参加いただく。特に参画する介護事業者においては、受講者のITスキルの向上及び介護関連の知識の充実に応える待遇の改善を就職部会で依頼しフォローを行う。

失業者や転職活動中の受講者については、就職部会が、求職者確保部会、及び教育部会と連携して受講者が望む就職先、当プログラムが養成する人材とマッチする就職先を幅広に整備する。就職部会に参画する介護事業者自身も受講者就職の受け皿となる。また、求職部会は企業交流会など受講者と就職先の交流の場を設け、受講者の就職への意識向上、ミスマッチの減少等も担う。各地で開催されるケアカフェなど地域のコミュニティと連携して情報共有の場を設けることで業界の牛の声を聞き、キャリア形成のイメージをより明確にする。



瀬戸内市 ケアカフェの様子(HPより)



提案年度の取組③

プログラムの成果検証(1)

【成果報告書】

就業先、及び講座修了生あてにアンケートを実施し、成果報告書ではその内容を中心に、就職率等の指標を加えて記載する。 また、成果検証は事業終了後、3か月、6か月、12か月後と定期的に行い、フォローアップのための材料とする。

○事業所向け

114 = 11		/ \ \\\ T	-m+	アンク	ァート	トーヒアリン	
対象属性	大項目	分類	調査項目例	匿名	記名	個別	撮影
講座修了者を		雇用に至った状況	講座修了者のアドバンテージが感じられたか		0	0	0
雇用した	いて	について	待遇面で講座修了者への優遇を検討したか		0	0	0
		雇用後の状況につ	ITスキル、その他のスキルは現場で役立っているか		0	0	0
		いて	講座修了者の働きぶり、活躍について他との差が見られるか		0	0	0
	事業所について	DX化、IT化の状況	講座修了者の雇用後、職場の状況改善が見られたか		0	0	0
		について	前項の理由、要因について		0	0	0
			講座修了者が果たした役割、果たせていない役割は何か		0	0	0
		職場全体として	効率化、省力化が進んだか		0	0	0
			前項の理由、要因について		0	0	0
			講座修了者が果たした役割、果たせていない役割は何か		0	0	0
		プログラムについ	プログラムについての意見、助言		0		
		て	プログラムにてさらに習得してほしいスキルについて		0		
まだ講座修了	講座修了者につ		講座修了者からの応募があったか		0	0	
者を雇用して	いて	況について	雇用に至らなかった理由は何であったか		0	0	
いない			講座修了者について他に必要なスキル、要素は何だったか		0	0	
		プログラムについ	プログラムについての意見、助言		0		
		て	プログラムにて習得してほしいスキルについて		0		

提案年度の取組4

プログラムの成果検証(2)

○受講者向け

分色 厚州	状況	八米五	一种 本语 只 / 回	アンク	ケート	ヒアリ	ノング			
対象属性	1人)兀	分類	調査項目例	匿名	記名	個別	撮影			
講座未修了者	全員	未修了となった理由	カリキュラムの難易度について	0						
			求めていた内容とカリキュラムのマッチングについて	0						
			プログラムの受講のしやすさについての要望、改善点	0						
講座修了者	全員	修了時の状況	身についたと思うスキル	0	0		0			
			プログラムの受講にあたってよかった点	0			0			
			プログラムの受講にあたって困難だった点	0			0			
	就職者	就職活動時の状況	就職活動においてプログラムで得たスキルについてPRする 機会があったか	0						
			待遇面でスキルアップの効果について明示されたか	0	0		0			
					現在の状況 プログラムで得たスキルを活用できて	プログラムで得たスキルを活用できていると感じるか	0	0		0
			待遇面でスキルアップの効果が反映されているか	0	0		0			
		今後に向けて	さらに習得を図りたいスキルがあるか	0	0					
	未就職者	現在の状況	就職活動において講座でのスキルが役立っているか	0						
		今後に向けて	さらに習得を図りたいスキルがあるか	0						

匿名アンケート:定量調査(数値化、分析)→受講者の受講状況、スキル向上度、現場での有効性・貢献度などを定量的に分析

記名アンケート:定量調査(数値化、分析)、プログラムの質的評価 →業務のIT化・効率化や、講座修了生の優位性などを分析

個別ヒアリング:プログラムの質的評価、満足度の立体的な聞き取り →事業所、受講者への総合的な効果をヒアリング、数値化

ヒアリング撮影:講座修了者を雇用した事業所、就職や待遇向上を実現した講座修了者のインタビュー動画を撮影

※プログラムが十分に活かされた事例について現場や本人の声を収録し、以降の受講者募集、事業者へのPRに活用

以上を元に、就業先での介護スキル、ITスキルによる貢献度:**定性面の分析**

就職率や離職率、待遇の変化 : 定量面の分析 の両面から成果を検証する

取組を効果的・効率的に実施するための工夫

セミナーによる周知活動

本講座は各労働局や参画委員の協力を得ながら受講者募集を行っていく。また、ウェブサイトやSNSも活用し、関心を高めるセミナーを複数回開催する。ITと介護の知識以外にミドルシニア向けの総合科目の魅力を伝え、老後のライフデザインに必須であるカリキュラムであることを訴求する。

ミドルシニア向け総合科目の導入

上述の通り、本事業の対象となる年代は40~60代のミドルシニア層 (中高年) である。ミドルシニアが老後を有意義に過ごすために身に付けたい知識として、ITと介護に加え、ミドルシニア向けの総合科目を導入する。下記4つの領域を設ける。

①健康学(健康促進と介護予防、運動、家庭科等)

人生100年時代を迎え、ミドルシニア層はリタイア後の老後の生活に不安を抱えている。最も大きな不安は健康である。介護職で日々シニア層に接しながら、いかに同じような要介護状態になるのを遅らせるかは本人たちの強い関心事である。健康学は個人や集団の健康を理解し、促進するための学問であり、介護も同様に、高齢者や障害を持つ人々の健康をサポートし、最大限の生活の質を維持することを目指している。健康学と介護は、人々が健康で充実した生活を送ることを支援する共通の目的を持っている。実際に運動や体に良い料理を体得することで、自らが健康なシニアとなれる基礎を築き、介護の利用者への知識の提供や意識改革を促すスキルも得る。

②アート領域(音楽・芸術・文学)の鑑賞と実践

多忙な介護職で趣味の分野を広げることができなかったミドルシニアも多いと考えられる。アート領域では選択制で興味のある芸術分野に取り組む機会を創出する。例えば絵画や音楽などはそのまま介護施設でのレクレーションにもつながるスキルであるため、仕事にもすぐに役立ち、且つ自身の老後の生活も充実したものになる。

③言語学・日本および世界の歴史・文化・地理・観光

外国語の習得は脳を刺激し、認知症等の予防が期待できる。健康学で健康を維持しながら、海外も含む歴史や文化への興味は、観光への欲求につながり、より豊かな生活への意欲を湧かせる。

④その他(ファイナンス、ライフデザイン等)

老後2000万円問題が注目されたように、老後の資産形成には多くのミドルシニアが不安を持っている。投資への知識やライフデザインを見直すことで、計画的に老後を迎えることができる。老後の不安を払しょくすることはミドルシニア層の現在の生活をより明るく生きていく糧となりえる。

若者・学生との交流

本事業の受講者は40~60代を想定している。オンラインやオンデマンド受講の体制は充実させるものの、実施主体者である日本ITビジネスカレッジや講座を開講する予定である中国学園大学での現地参加も奨励していく。特に壮年から老年の世代は若い世代との交流も生きがいの一つであるので、各教育機関に在籍する学生と同じ授業を受けたり、同じワークショップに参画できるプログラムとしたい。そうすることで若年層と年配者の相互交流と相互学習が可能となる。

◎趣味や興味を共有する活動:

アート領域(音楽・芸術・文学)等は講座外でもワークショップを開催することで、共通の話題や経験を通じて交流を深められる。

◎歴史や文化に関する交流:岡山の歴史や文化に焦点を当てた講座を学生が受講したり、ミドルシニアが逆に話し手となる企画を実施する。自身の経験や知識を活かして話すことができ、若者も新たな知識を得ることができる。

◎世代間のディスカッションや相互学習:

ミドルシニアと若者が互いの世代について理解を深めるために、ディスカッションやグループ活動を行う。例えば、世代間の価値観や社会の変化について話し合ったり、若者から最新の技術やトレンドに関する情報を共有してもらったりする。IT科目で培ったSNS等のスキルは若者との交流にも大いに役立つはずである。

介護分野でのメタバース活用の試み

メタバース内で、介護の実際の場面を再現し、参加者が介護者の役割を体験し、高齢者や障害を持つ人々の生活やケアの様子を観察する、また、将来的なメタバースの介護領域でのサービス提供の可能性についても学ぶため、寝たきりでも世界旅行ができるVR旅行などを体験しつつ仕組みを理解し、そのツールを活用できるスキルを身に付ける。

事業実施に伴うアウトプット(成果物)

	成果物	内容
1	市場調査分析報 告書/成果検証 分析報告書	市場調査では、介護現場で必要とされるITスキルと現状の平均的なスキルの水準、介護従事者のITスキル習得のためのニーズと障壁およびミドルシニア層が必要とするウェルビーイングにつながる学びの裏付け調査を行い報告書にまとめる。成果検証では受講者と企業のアンケート収集・分析を行い報告書にまとめ次年度に活かす。
2	求職者向けWebコ ンテンツ	求職者向けのWEBコンテンツを作成する。具体的な講座の内容、目指す人物像、得られるスキル、求人情報も 詳細かつ分かりやすく網羅する。作成したコンテンツは、使いやすく見やすいウェブサイトで配信し、定期的に 更新する。また、コンテンツの質と使いやすさを保つと共に、SEO対策やSNSでの宣伝等、マーケティングも 念頭に置きながら制作を進める。
3	プロモーション動 画	求職者向けウェブコンテンツに掲載するプロモーション動画を制作する。求職者を募るためにプログラムの魅力を発信する動画とする。委員の介護事業者の責任者にも協力いただき、欲しい人物像、学んでほしいスキル等を説明し、またそれを学ぶことによって介護業界や受講者のこれからの人生においても有益であることを伝える。また、プログラム終了後にその成果をアピールするためにも、受講者の感想や、実際に職場で活かされた事例も話してもらい、より説得力のあるプロモーション動画とする。
4	カリキュラム パッケージ	カリキュラムを一連の資料としてパッケージ化する。具体的には、シラバス、コマシラバス、教材(パワーポイント等資料)、指導計画、学習評価指標をひとまとめにする。またアーカイブ視聴用ポータルサイト(下記 5)も整備することにより、各学校で講義を行う場合はオンデマンド授業を実施し、その後に指標に基づいて評価も可能である。アーカイブ動画の内容を踏襲しつつも各校独自の内容を付加して対面授業を行うことも可能である。
5	アーカイブ視聴 用ポータルサイ ト	アーカイブ視聴用ポータルサイトを構築する。作成したポータルサイトには120時間すべての講義をサーバーに保管する。IDとパスワードによって受講者がいつでも視聴できる仕組みを作る。このポータルサイトは求職者向けWebコンテンツ(上記 2)にもリンクを置く。そこから一部の講義にアクセスを可能にし、受講者は申し込み前に一部を受講することで、受講者増加につなげていく。
6	自学自習用アプリ	カリキュラムの一部を自 <mark>習できるアプリを開発</mark> する。具体的には介護分野の初任者研修の講座等、介護事業者と しても職員に利用してもらう価値のあるものを制作する。ミドルシニア層向けのコンテンツについては、市場調 査分析(上記1)を参考にしながらコンテンツを絞る。
7	セミナー/説明会 等開催とアーカイ ブ動画	当事業では5回のセミナーを開催する。セミナーでは実際に職員を受講させたい介護事業者(委員)をスピーカーを確保し、基本はオンラインで実施する。求職者向けWebコンテンツにはセミナーのアーカイブを保存し、ウェブサイトやSNSなどを通じ講座の詳細を伝えるプロモーションを随時行うことも可能となる。





DX化

大学のアップデート案・

学校法人せとうち 理事長 田中旬一



+1. 目的

+ 2. 概要

+3. 課題



1/目的

- +1. 少子高齢化対策
- +2. 岡山企業のDX化
- +3. 日本人学生の国際性獲得



小さく老いていく日本

学生数と留学生比率分析



どこを目指すのかで今後の戦略は大きく変わる。

学	多	人口減少の中、 より学生募集魅力 的な学び向上や発 信など強化が必要	・様々な文化では あるが人が多い分 利益が増え異文化 コストは下がる。
生数	中		
	少	・今までとルール など変わらないが 人口減少学費を上 げるなど対策必要	少ない人数で多 国籍となると、 様々な文化に合わ せてコスト大
		日本人のみ	多国籍

留学生率

1/目的

- +①少子高齢化対策
- +②岡山企業のDX化
- +③日本人学生の国際性獲得

②岡山企業のDX化





DX化による生産性向上

インドIT技術者の投入

1/目的

- +①少子高齢化対策
- +②岡山企業のDX化
- +③日本人学生の国際性獲得

③日本人学生の国際性獲得

井の中の蛙大海を知らずからの脱却

人間関係構築が楽になる

客観的に自分を見つめなおせる

+1. 目的

+ 2. 概要

+3. 課題



2. 概要

- +1. インド学生受け入れ
- +2. 教職員の国際化

②日本側で教える科目リスト

インド大学からの学生はITの学びが1年間履修済みの状態を予定しています。 日本側の科目についてインド側からの要望はございません。

その理由は、多くの学生は卒業後日本での就職や日本関係に務めることを目的としているためです。 日本に興味がある彼らにとって、大学で学べる事が、卒業後日本での就職などに繋がる学びや取り組みであると就職後の彼らの力になると考えます。インド留学生の需要を踏まえ、常勤をフル活用し、不足部分を非常勤で補うことで、収支を意識したカリキュラム編成がひつようです。

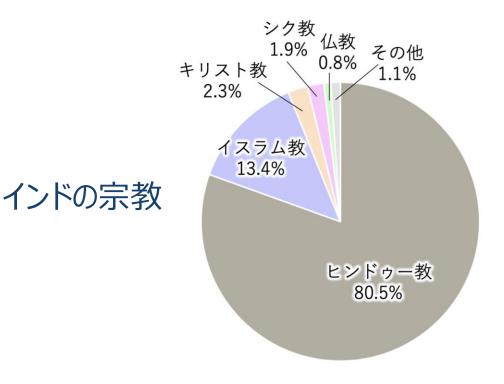
目的はシンプルに日本就職なので、英語教員の活用を促し、日本のビジネスマナー、履歴書作成、日本文化等を英語を介して学ぶ機会をつくる。その他、どの教授に、カリキュラムに耐えうる素養があるのか、確認する必要があります。

今回優秀なインドの大学からの科目の要求などない提案は、またとない大きな好機であると考ます。

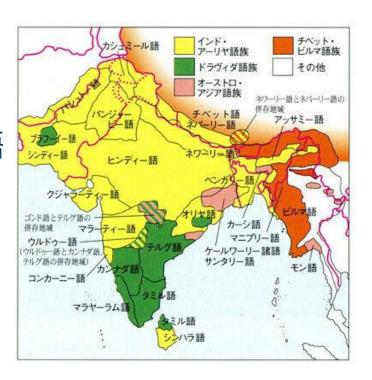
⑨インドの学生の英語レベルはかなり高い(学部や大学院の講義は全て英語)

はい。授業もビジネスもできる程度である。

インドの人々が英語が話せる理由については、インドは北はヒンドゥー語、南はタミル語、さらに国内で使われる言語は約800あると言われています。さらに1935年代教育言語を英語教育が導入。英語は政府が認める準公用語とされており、現在インド国内での会話は英語が主流です。ですが、2022年英語を話せる割合は14%とという統計データもあり、現状はまだまだ教育格差がございます。



インドの言語 国内で使われる 言語は約800





⑪PURL大学の概要

学校名

学校所在地

設立

生徒数

留学生数

面積

学部

Paul University

ヴァドーダラー (西インド)

1993年設立、2015年パール大学法人化

5万3千人※拡大中

2500名(68か国)※拡大中

125エーカー(約15万坪)※現在さらに増設中

建築・設計学部、応用科学部、農学部、アーユルヴェーダ部、 商学部、工学・技術学部、デザイン学部、美術部、ホメオパシー部 ホテル・ケータリング技術部、IT&コンピューターサイエンス学部 法学部、教養学部、図書館情報科学部、経営学部、医学部、看護部 薬学部、理学療法学部、ソーシャルワーク部、舞台芸術学部



⑪PURL大学の概要

国内ランキング

イノベーションランキング50位/オールインド 大学ランキング200位/オールインド

※インドの大学は約600校と言われている



2. 概要

- +1. インド学生受け入れ
- +2. 教職員の国際化

教職員の国際化

英語人材の確保

カリキュラムの中に英語で講義する内容を入れる

多様性理解

+1. 目的

+ 2. 概要

+3. 課題



3/ 課題

- +1. 教職員体制、英語等、留学生支援体制
- +2. 収支

このプログラムがない場合の懸念

1. 日本人学生の減少

2. 教職員雇用の維持困難

3. 学校法人会計 収支マイナス

インバウンド事業

瀬戸内観光協会との連携 農泊 インバウンド調査等 インバウンド 調査



介護



水清会 DX化 かい ご し せつ しょう がく きん

①介護施設奨学金

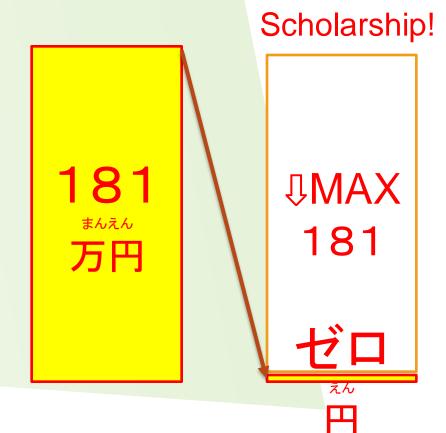
1 かいごしせつしょうがくきん 介護施設奨学金

かいごしせつ めんせつ 介護施設の面接をうける



こうかく 合格したら







学校法人 せとうち

かい ご し せつ しょう がく きん

①介護施設奨学金

1 かいごしせつしょうがくきん 介護施設奨学金



たいせつ やくそく

大切なことを約束してください

しょうがくきん

かいごしせつ

ねんいじょうはたら

奨学金をくれた介護施設で5年以上働く

しょうがくきん しせつ

奨学金は施設によってちがいます (120~181万円)

ぶぶん

ぶん は

足りない部分は自分で払います



学校法人 せとうち



〒701-4212 岡山県瀬戸内市邑久町尻海2968

Tel: 0869-24-8588

しゃかい ふくし きょう ぎ かい しょう がく きん

2社会福祉協議会奨学金

2

しゃかいふくしきょうぎかい 社会福祉協議会

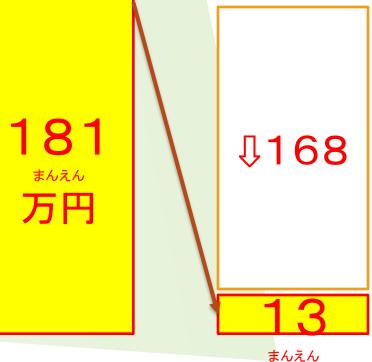
かいごしせつ めんせつ 介護施設の面接をうける



はおいます しんせい 社協に申請



Scholarship!



まんえん

万円

学校法人 せとうち



〒701-4212 岡山県瀬戸内市邑久町尻海2968

Tel: 0869-24-8588

しゃかい ふくし きょう ぎ かい しょう がく きん

2社会福祉協議会奨学金

(2) < L = & &

しゃかいふくしきょうぎかい 社会福祉協議会



たいせつ

大切なことを約束してください

やくそく

しょうがくきん

おかやまけん

ねんいじょうはたら

奨学金をくれた<mark>岡山県</mark>で5年以上働く

しょうがくきん

まんえん

奨学金は168万円です。

き ぶぶん

じぶん はら

足りない部分は自分で払います





学校法人 せとうち



〒701-4212 岡山県瀬戸内市邑久町尻海2968

Tel: 0869-24-8588